



Windows 11搭載機を全国13拠点に導入 PC本体と導入、運用、保守すべてを「月額費用化」

ハイモ株式会社は、水溶性高分子技術に強みを持つ水処理薬品メーカーとして、国内に研究所・工場・営業所など13拠点を展開している。同社は、アルファテック・ソリューションズ (ATS) のPCライフサイクルマネジメント (PCLCM) サービス「ピタッとキャパシティ for PC」を採用し、計240台のPCを最新のWindows 11機に入れ替えた。注目すべきは、PC本体に加え、導入、運用、保守サービスにかかるコストを「4年間・48か月で月額費用化」したこと。さらに、「カスタマーポータル」を活用し、ユーザーからの問合せ対応や保守など、情報システム部門の大幅な業務負荷軽減に成功したことである。

お客様課題

- 全国13拠点・240台のPCを最新化し、導入、運用、保守にかかる業務負荷を軽減
- 新機種導入時に突出するコスト負担を抑制

ソリューション

- ATSが、全国13拠点へのPC導入、運用、保守までをトータルにサポート
- 「ピタッとキャパシティ for PC」により、PCを使い続ける期間中の総コストを月額費用化

導入成果

- ATSのサポートにより、限られた情報システム部員で13拠点・240台のPCを最新化
- PC本体と導入・運用・保守サービス全体を月額費用化し、4年間・48か月でコスト負担を平準化
- 「カスタマーポータル」を通じて、ATSが問合せへの一次対応と問題切り分けを実施
- 問題解決の迅速化と問合せ対応負荷の軽減を両立し、継続的な運用改善にも貢献



ハイモ株式会社
管理本部 本部長代理
兼 情報システム部長
尾崎 俊氏



ハイモ株式会社
管理本部 情報システム部
椎谷 智晃氏

環境負荷軽減に貢献する水溶性高分子技術

ハイモは、高分子凝集剤・廃水処理薬品「ハイモロックシリーズ」を提供する水処理薬品メーカーとして60年以上の歴史を持つ。独自の水溶性高分子技術は、水処理にとどまらず、紙パルプ、環境、建築、土木、情報、医療等の分野に応用され、環境負荷低減やエネルギー削減に広く貢献している。管理本部 本部長代理 兼 情報システム部長の尾崎俊氏は次のように話す。

「ハイモでは、水溶性高分子が凝集機能以外にも様々な機能を持つことに着目し、お客様の多様なニーズに応える技術開発・商品開発に取り組んできました。私たちは、持続可能な社会への取り組みを担う企業であることを認識しつつ、機能性高分子技術が実現する普遍的な価値を、国内外のより多くのお客様にお届けしていきたいと考えています」

2025年1月、ハイモは国内13拠点で利用しているPCおよそ240台を最新化。最新のWindows 11搭載機導入にあたって、ATSのPCライフサイクルマネジメント (PCLCM) サービス「ピタッとキャパシティ for PC」を採用した。管理本部 情報システム部の椎谷智晃氏は、PCLCMサービスの採用に至った背景を次のように話す。

「情報システム部は5名。限られたリソースで、240台のPCの調達からキitting、13拠点への導入作業、ユーザーへの使用説明、導入後の問合せ対応や保守まで、すべてを行うことは困難です。すでにMicrosoft 365の導入・保守を通じて私たちの環境や体制を理解してくれているATSなら、安心して新しいPC環境を任せられると考えました。ATSのPCLCMサービスはメニューが充実しており、投資対効果の面でもメリットが大きいと評価しました」

「ピタッとキャパシティ for PC」を採用

ATSが提供する「ピタッとキャパシティ for PC」は、企業向けPCのライフサイクル全体をサポートする充実したサービスを提供するとともに、PC本体と導入・運用・保守にかかるコスト全体を「月額費用化」できるメリットが評価されて、大手から中堅・中小まで幅広い企業から支持を伸ばしている。ATSの三浦依莉氏は次のように説明する。

「PCの調達を起点に、マスターイメージの作成、現地作業を最小化するための事前準備、現地での導入支援、日常的な運用・保守まで、ハイモ様の要件に合わせて『ピタッとキャパシティ for PC』のサービスメニューをカスタマイズしてご提案しました。私たちが特に重視したのは、情報システム部の方々が、エンドユーザーからの問合せに翻弄させられないための仕組みです。そのため『カスタマーポータル』を用意し、ATSが問合せへの一次対応と問題切り分けを行う体制を整えました」

ATSでは数百～数万台規模のPC運用支援体制を整えており、Webブラウザから直感的な操作で扱えるカスタマーポータルの整備・運営においても豊富なノウハウを持つ。椎谷氏はATSの提案を次のように評価する。

「エンドユーザーからの問合せに対して、ATSが一次対応と問題切り分けを担うという提案は非常に魅力的でした。アプリケーション開発元に問合せるべき問題か、ハードメーカーに修理依頼すべきかといった判断も任せられるため、初動が早くなり問題解決のスピードを高められます。私たち情報システム部の業務負荷も大きく軽減できると考えました」

尾崎氏は、マネジメントの視点から、「PCを使い続ける期間中の総コストを月額費用化」できるメリットを次のように評価する。

「これまでのPC導入ではどうしても初期コストが大きく突出してしまいましたが、『ピタッとキャパシティ for PC』では、ハードウェアから各種サービスまで、PCを使い続ける期間中の総コストを『4年間・48か月で均等払い』が可能です。コストが正確に見通せるため計画が立てやすく、不確実性が高まる時代においてリスク分散の観点でもメリットがあると考えました」

パイロットを経て全国13拠点への導入に着手

ハイモが、ATSの支援を受けて全国13拠点へのWindows 11機の本番導入に着手したのは2024年10月である。ハイモとATSはこれに先立ってパイロットテストを実施し、入念に課題を洗い出しながら準備を進めた。ATS側でプロジェクトをリードした平木陽介氏は次のように振り返る。

「2024年初頭よりマスターイメージの作成に着手し、導入プロジェクトを正式に開始したのは5月です。まず、情報システム部に5台のWindows 11機をテスト導入して、キittingで対応すべき作業範囲と、社内LANに接続した上で現地作業が必要な範囲を確認していきました。現地作業を可能な限り絞り込むことで、新機種への入れ替えをスムーズに進めることを目指しました」

ハイモ情報システム部のメンバーとATSの現地対応チームが協力し、本社、工場、研究所、営業所への導入が順次進められた。管理本部 情報システム部の菊田真歩氏は次のように話す。

「PC本体とネットワークの設定に加え、プリンタードライバーのインストールなど既存PCと同じ使用環境を再現し、基本操作に関するレクチャーも行いました。ATS側の作業が時間を前倒して進めてもらえたおかげで、エンドユーザーを手厚くサポートすることができたと思います」

管理本部 情報システム部の高木祐太氏は、「どれだけ入念に手順を確認しても、現場では予期しないことが起こるものです。私たちは、パイロット導入で確認した手順を忠実に再現することで、ほとんど手戻りなく導入を進めることができました。ATSチームの作業の手際の良さにも大変助けられました」と続けた。

ATSは、様々な規模の企業のPC運用支援で15年以上の実績があり、最大規模のユーザー企業では4万台のPC運用をサポートしている。ATSの福島幸司氏は次のように話す。

「ATSは、PCLCMにおける長年の経験から、効率的な導入手順や留意事項に関する知見を持っていますが、お客様の環境や体制によって最適解は大きく変わります。事前のヒアリングと要件の確認を経て、パイロットテストで課題を把握し、現地作業に入ってから必要であれば柔軟に軌道修正して対応できることがATSチームの強みだと思っています」

ハイモの新PC導入と新しいサポート体制への移行に際して、ATSが提供した主なサービスは広範に及ぶが、すべてが「ピタッとキャパシティ for PC」で網羅され月額費用モデルで提供されている。

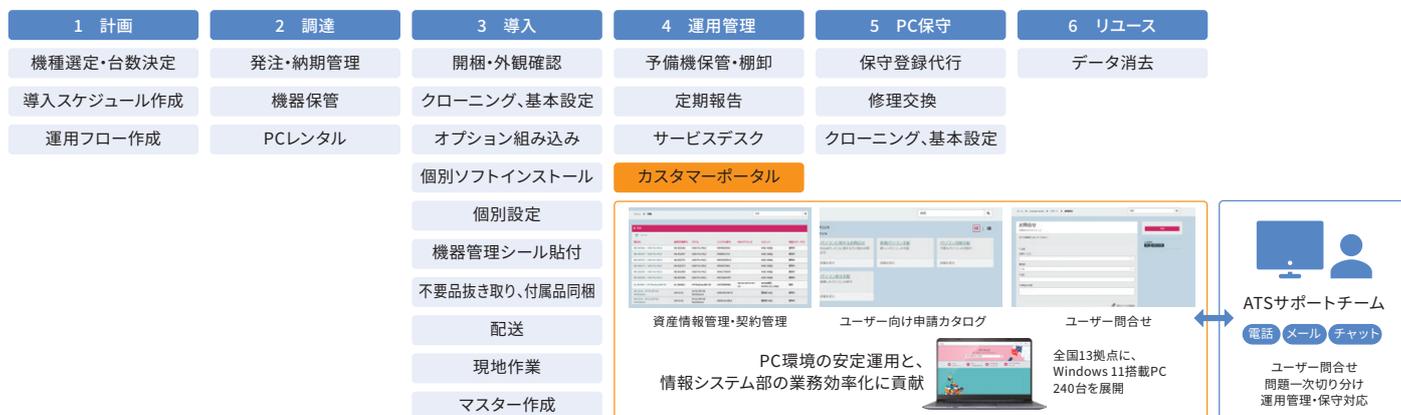


ハイモ株式会社
管理本部 情報システム部
菊田 真歩 氏



ハイモ株式会社
管理本部 情報システム部
兼 技術本部 湘南研究センター
評価分析グループ
高木 祐太 氏

「ピタッとキャパシティ for PC」のサービス全体像





アルファテック・ソリューションズ株式会社
エンタープライズ事業部
技術部
第4技術グループ
マネージャー 平木 陽介氏



アルファテック・ソリューションズ株式会社
DXソリューション事業部 ITサービス部
第2サービスグループ
第2チーム
福島 幸司氏



アルファテック・ソリューションズ株式会社
エンタープライズ事業部
営業部
第1営業グループ
第2チーム
三浦 依莉氏

使い勝手の良いカスタマーポータルを提供

2025年1月、ハイモのWindows 11環境は計画通り全社で運用を開始した。ユーザーが新しいOSやアプリケーションに慣れるまで、情報システム部への問合せは急増したが、「カスタマーポータル」を起点とするATSの運用支援サービスが情報システム部の負荷軽減に大きく貢献した。

「カスタマーポータルでは、エンドユーザーがチャット形式で相談や問合せが可能です。要求はチケットとして管理され、やり取りされた内容は履歴として残りますので、情報システム部の誰が対応を引き継いでも適切に対処できます」(椎谷氏)

電話やメール、Teamsなどからの問合せも、ATSが代理起票してポータルに登録する運用手順が整えられた。

「問合せ窓口がカスタマーポータル中心に変わり、ATSが一次対応と問題の切り分けを担うことで、情報システム部員がユーザーへの回答やトラブルシューティングに振り回されることなく、落ち着いて対応できるようになりました。PCに関わることなら、ユーザーからの問合せを情報システム部で調査せずに、ATSへまず投げればよいので、私たちの業務負荷は大幅に軽減されました」

カスタマーポータルには資産管理台帳も統合され、今後はライセンス管理・契約管理業務も効率化されると期待されている。プロジェクトを振り返って尾崎氏は次のように結んだ。

「月次の運用報告会では、現状報告に加えて、PCの安定運用をより効率的に行うためのアイデアや提案を受け取っています。ATSのチームと一緒に改善に取り組むことで、情報システム部の働きと成果をいっそう高めていけるものと期待しています。4年後のPC更新に際しては、最新のテクノロジーを戦略的に活用して運用を進化させ、より大きな価値を創造してもらえたいと思っています」

ハイモ株式会社

本社 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル

1961年、当時社会問題となりつつあった産業排水問題の解決を目指して創業。化学薬品メーカーとして、下水や工場排水の浄化に使われる高分子凝集剤「ハイモロック」の製造開発を手掛ける。独自の水溶性高分子技術を持つ数少ないメーカーの1社であり、環境分野で社会的意義の高い企業使命を担う。アジアを中心に海外マーケットへの本格的な進出を進めている。

©2025 Alphatec Solutions Co., Ltd.

本資料に記載の会社名、団体名や製品名は各社の商標または登録商標です。

記載事項は個別に明記された場合を除き2025年7月現在のものです。

アルファテック・ソリューションズ株式会社

事業拠点



本社: 〒140-0014 東京都品川区大井1-20-10 住友大井町ビル南館

神谷町オフィス / 新大阪オフィス / 長野オフィス / 沖縄オフィス / 曳舟センター

お問い合わせ



mktg@alphatec-sol.co.jp



<https://www.alphatec-sol.co.jp/>

